

ふくい女性ネット REPORT

ふくい女性ネットとは…

県内の企業、事業所、団体等で活躍中の女性が、相互交流、自己研鑽、企業等における女性の活躍促進を目的として、講演会や交流事業、情報発信事業に取り組んでいます。

<http://pref.fukui.lg.jp/doc/joseikatuyaku/ladygp/f-net.html>

福井県とお茶の水女子大学が共同で作成・実施する女性リーダー育成研修プログラム「未来きらりプログラム」。
9月からは、いよいよ2つのコースに枝分かれし、企業リーダーコースは「仮想プロジェクト」に、製造業リーダーコースは「ものづくりスキルアップ講座」に取り組んでいます！！

企業リーダーコースは「仮想プロジェクト」始動！

8月27日、仮想プロジェクトがいよいよスタートしました。「仮想プロジェクト」は、提示された課題を解決するビジネスプランをグループ(6名)ごとに企画立案し、プレゼンテーションまでを実践する6回シリーズの講義です。

今年のテーマは「『幸福度日本一』をさらに伸ばすためのビジネスプラン」



8月27日(月) オリエンテーション「『幸福度日本一』ふくいの姿」



説明者: 県地域交流推進課 企画主査 竹沢 進 氏

“幸福度”とは何か、なぜ福井の幸福度が高いのかのお話をさせていただきました。福井県が3回連続「幸福度日本一」だということはニュース等で知っていましたが、その指標や根拠を聞くことで、実際県民が持っている感覚とは少し食い違いがあることがわかりました。

福井県の魅力を、まずは県民に知ってもらうことも大切なのではないかと感じました。
(担当: 笹岡)



講義 「アイデア発想方法～企画づくりとアイデアの出し方～」



講師: 一般財団法人日本経営協会 寺田 久美 氏

前半は、寺田先生より「企画づくりとアイデアの出し方」を教えてくださいました。企画の立案を行う際、誰に・何を・どのように実現するのかを明確にすることが重要であること。実現のために目的からターゲット、内容、実現方法までのプランの整合性をとることがポイントであることがわかりました。

後半は5班に分かれ、グループワークを行いました。幸福度のもとになる指標をもとに成果の数値設定などを行いました。メンバー全員で意見を出し合うことで、一人で考えるときには思いつかないような独創的な視点でのアイデアが生まれ、刺激となりました。

事業展開地域と業種がそれぞれ違うため、各班どのようなビジネスプランにまとまっていくのかがとても楽しみです。

(担当: 吉田)





10月23日(火) 仮想プロジェクト②「マーケティング①～現状分析と戦略の立て方～」



前半にマーケティングの基礎について講義を受け、事業を行うにあたり、誰に何をどのように提供するかが重要であり、そのためには自社・地域の強みなどといった内部環境や、顧客ニーズなどビジネスチャンスになる機会などといった外部環境の現状分析がとても大切であることがわかりました。お客様が何を求めているのか、何に価値を見出すのか、その考え方や手法をわかりやすく教えていただき、学んだことを自分の仕事でも生かしていきたいと感じました。

後半のグループワークでは、前半に学んだことを踏まえ、自分たちが作った仮想企業の強みである内部環境、前回設定した指標におけるビジネスチャンスとなる機会などといった外部環境の分析を実際に行い、ワークシートにまとめました。自分たちのビジネスを誰にどのように売り込むのか、そして競合はどういったものなのか、差別化されるためには、など文字に書き起こし明確化させることで、プランを立てやすくなり、方向性のブレがない土台づくりをできたのではないかと思います。

(担当・田中・楠木)



11月13日(火) 仮想プロジェクト③「マーケティング②～戦略から戦術の策定方法～」



前半の講義では、顧客がお金を払ってくれる価値がどこにあるのか、ターゲットやニーズ、商品、サービス等、いろんな視点から創造する必要があることを学びました。マーケティングにおける戦術手段として、Webでのプロモーションが有効であるということは認知の通りでしたが、そのターゲットは個人だけではなく、広告代理店等のネットエージェントにおいても相手になりうるということを知りました。その他にも実際の商品の事例で説明を受け、みんな「なるほど～」と納得した様子でした。



後半は、それらを自分たちのグループで考えているビジネスプランに結びつけ、話し合いも一層活発に行われていました。最後に各班のビジネスプランについて中間発表を行いました。個人的には私の班は進捗が遅れており焦りもありますが、チームワークを意識して進めていきたいと思います。2月の発表会では女性ならではの視点から生まれた内容が聴けるのではないかと楽しみです

(担当：三田村・大橋)

編集後記①

9月からスタートした仮想プロジェクト。2月のビジネスプラン発表に向け、グループ全員が意見を出しながら一丸となって、進めております。事業展開地域、業種が限定された中で、福井の幸福度をさらに伸ばすためのビジネスプランがどのようにまとまるのかがとても楽しみです。

(担当：楠木)

製造業リーダーコースは「ものづくりスキルアップ講座」がスタート！

今回からは製造業リーダーコースのメンバー10名での講義になりました。急に人数が減り、心細い感じもありましたが、講師の先生への質問などもしやすく、中身の濃い講座になっていくと思います。



9月21日（金） ものづくりスキルアップ講座①



「ものづくりに生きる女性の視点」

講師：（一社）中部産業連盟 コンサルティング事業部部長 杉籐 里美 氏



今回からは製造業コースのみでの講義になった為、改めてメンバーの事を知ろうということで、他己紹介を行いました。分かりやすく、よい印象をもたれるように相手の情報を伝えるのが鍵とのことでしたが、これが意外と難しかったです。メンバーの数はぐっと少なくなりましたが、交流をより深めつつあと半年を過ごしていきたいです。「女性リーダーに必要なこと」では、自己認識力をアップすることが重要だと感じました。女性は自分を信じてはっきり表現することが苦手な傾向にあります。自信を持って判断や意思決定ができるかどうかは、自分の強みが複数あるかどうかに関わってきます。多様な職務を経験する機会があるときは、怖がらず積極的に参加していこうと思いました。また、近年は製造現場での女性活躍が増えてきており、女性管理職が多い企業は、新人にとって魅力のある会社であります。発信する力を身に付け、チャレンジ精神で頑張っていこうと思います。（担当：中島・吉田）



11月20日（火） ものづくりスキルアップ講座③



「ものづくりのプロセスと全体像の理解」 講師： 同上

企業経営のプロセスと機能・役割から幅広いお話をお聞きすることができました。正しい情報が然るべきところに届くよう、良いものづくりの「流れ」を作る役割を担っているのが管理者。ものづくりの重要な「流れ」を理解して、情報の共有を徹底していくことが大切だと実感しました。

ものづくりの基本概念として目指すものは徹底的なムダ排除による原価低減であると教えていただき、普段の業務のムダ（付加価値を高めないもの）を洗い出してみました。大小関わらず数多くありました。技術系に女性が少ない分、女性ならではの改善というのはまだまだできることがたくさんあると思うので、そういった働きかけができるように勉強して自信をつけていきたいです。

また、分野の違う方々とのお話も自分の視野が広がるまたとない機会なので、ひとつひとつ大事に取り組んでいきたいです。

（担当：阿蘇谷）





「現地視察研修(1) 県内企業」講師： 同上

セーレン株式会社

事業内容：(1)車輻資材事業 (2)スポーツ・ファッション事業 (3)エレクトロニクス事業
(4)環境・生活資材事業 (5)メディカル事業 (6)Viscotecs(ビスコテックス)
従業員数：1,554名(グループ全体 6,012名)



現地視察研修ということで、とても興味を持って参加させていただきました。幅広い事業内容と規模に圧倒されると共に、多くのものを商品化されていて、開発者のアイデアや企画にも驚かされました。

化粧品の研究室は女性社員ばかりで、開発した歴代商品がディスプレイされており、自分たちの作ったものに自信を持っている様子が伺えました。年々利益も出しておられるので、社員一人ひとりが役割を明確に働いているのだらうと思いました。最後の女性社員さんとの交流では、その方は役職も果たしつつ、自分の使命を楽しんでやっておられるのを感じました。(担当：政二)

女性管理職の方との交流で、管理職だからといって自分自身のハードルを上げるのではなく、自分なりの一生懸命さで部下に「どう伝わりどう見られるか」が、その方の考える管理職像だとおっしゃられていたのが印象的でした。女性特有の“輪”が不得手で、そこに敏感にならなくても仕事に差し支えがなければ、気にしないという鈍感力も必要であることも学びました。(担当：陶山)

編集後記②

10月に現地研修で県内企業視察に参加した際は、意見交換会にて新しい考え方に触れ、自分の仕事への向き合い方を見つめなおす貴重な機会になりました。2月には集大成として、実践計画の立案・発表があります。残り数ヶ月の研修が自分の実になるよう考えて行動していきたいと思います。(担当：中島)



JAL 大川副会長と座談会

10月30日、日本航空(JAL)副会長として活躍する大川順子氏を講師に招いての座談会が開催されました。「女性は自分の気づきを大切にしてほしい」「諦めずに実現まで努力することで社会を変えられられるかもしれない」など、女性活躍に向けた力強いアドバイスをいただきました。



ふくい女性ネット(第11期)参加企業 — ふくい女性ネットの趣旨にご賛同いただいた企業 —

アイシン・エイ・ダブリュ工業(株)	(株)アスピカ	(株)アタゴ	イーゲート(株)
井波木材	井上商事(株)	エネックス(株)	小浜製綱(株)
(税)合同経営会計事務所	(株)米五	(株)サーフボード	サカイオーベックス(株)
ジャパンポリマーク(株)	(株)ジャルダン	(株)SHINDO	(株)すみよし
(公財)坂井市スポーツ協会	(株)そごう・西武 西武福井店	(有)ダイケイ	(株)竹野
TOP	(株)日本エー・エム・シー	(株)日本オカダエンタープライズ	日本電産テクノモータ(株)
福井県民生活協同組合	福井商工会議所	学校法人 福井仁愛学園	(株)福井村田製作所
(株)PLANT	北陸電力株式会社 福井支店	マイランEPD合同会社	社会福祉法人 町屋福祉会
ミヤゲン	(株)山耕	横山電機(株)	リコージャパン(株)福井支社
(株)六大陸			

(37社 50音順)